

就労支援部会 報告書

会議名	第1回 就労支援部会		
期間	令和3年9月2日(木)～同年9月13日(月)		
開催方法	書面による開催		
出席者数	10名(内1名代理)	傍聴者数	傍聴不可

報告事項(1件)

議題名	〔仮称〕就労支援ハンドブックの作成について
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の就業支援や障がい者雇用の促進、就職後の職場定着を図るため、障がい者雇用の基礎的な知識、雇用までの流れ、支援制度や関係機関等をまとめたハンドブックを作成する。 ・区内就労移行支援事業所が参加する「板橋区移行支援事業所連絡会」で作成を進め、当部会へ進捗状況等を報告する。 ・完成は令和4年4月を予定。
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドブックの作成について、協議してきた経過がなかった。作成に至る経緯や作成を移行支援事業所連絡会が担っていく理由を伺いたい。 →板橋区では、就労支援の流れや支援機関の一覧等、就労支援に関する情報の整理が十分ではないと考え、部会長協議のもと、ハンドブックの作成を協議事項とした。内容の一部に各移行支援事業所の紹介ページを盛り込む考えであり、各事業所へ紹介ページの作成協力依頼を行うことから、移行支援事業所連絡会にて作成を担っていく。 ・このような手引書(特に紙媒体)は、“作成して満足”、“作成することが目的”となりがちである。誰に見てもらいたいのか、どのように活用するのかをしっかり検討・検証し、取り組んでほしい。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援事業所連絡会で作成を進め当部会へ進捗状況等を報告する。 ・必要があれば、当部会の開催によらず、都度、委員への報告や意見を求めるものとする。

協議事項(2件)

議題名	民間企業における障がい者雇用のニーズ・実態の把握、支援策の検討について
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者雇用促進法の一部を改正する法律の施行(令和3年3月)に基づき、板橋区障がい者計画2023にて、就労支援部会では、区内民間企業における障がい者雇用のニーズ・実態の把握とその支援策を検討することとした。 ・ ニーズ・実態の把握について、障がい者を雇用している企業や雇用を考えている企業向けの「障がい者雇用促進セミナー」を開催し、調査することを事務局より提案した。
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「障がい者雇用促進セミナー」の開催は、参加企業から直接意見を聴取することで雇用実態や支援ニーズを把握できる有効な機会になると考える。 <p><懸念事項></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既に同様のセミナーがハローワークや特別支援学校等で実施されている。 ・ セミナー参加企業だけでは十分な実態調査にならない。偏りがでる。 <p><その他の調査方法のアイデア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ web等でのアンケート ・ 就労移行支援事業所による企業へのヒアリング ・ 就労支援機関向けの調査(既に把握している企業ニーズ等)
協議結果	意見を集約し、次回以降の当部会にて調査の方向性を示していく。

議題名	地域生活支援拠点の整備における「就労等の体験の機会・場の提供」について
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域生活支援拠点の5つの機能のうち、「体験の機会・場の提供」において、就労等の体験ができることを板橋区ではめざすべき姿の一つとした。 ・ めざすべき姿の実現に向け、就労体験等の現状把握や課題設定等を整理したい。 ・ 第一段階として現状を把握したいため、各委員が把握している就労体験に関する情報を集約し、見える化を図る。
主な意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京しごと財団の「職場体験実習」制度を活用した。 ・ 各就労移行支援事業所において、個別に繋がりのある企業へ実習を行っている。 ・ 障害者職業・生活支援センター(ワーキングトライ)にて、「中小企業障害者雇用応援連携事業」(企業向けアウトリーチ型支援事業)を行っている。
協議結果	意見を集約し、次回以降の当部会にて板橋区における「体験の機会・場の提供」の現状を示していく。